

シクラメン葉腐細菌病の防除対策マニュアル を作成しました

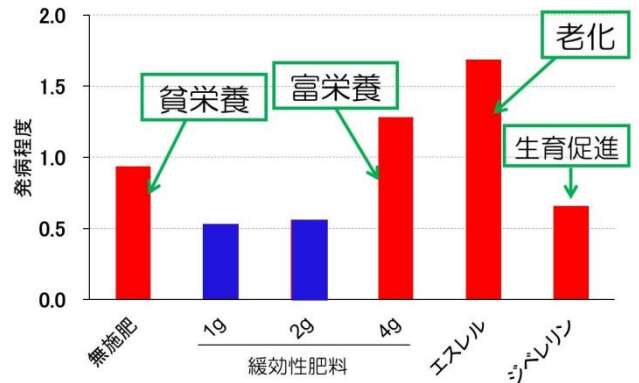
近年、県内のシクラメン生産ほ場ではシクラメン葉腐細菌病が多発しています。本病害は防除に関する基礎的な情報が少ないこと、他のシクラメンの病害との見分けが困難であることなどから、安定生産の妨げとなり、深刻な問題となっています。そこで、発病条件や感染経路を把握し、効果的な防除対策について検討しました。

穀物酢による種子消毒効果

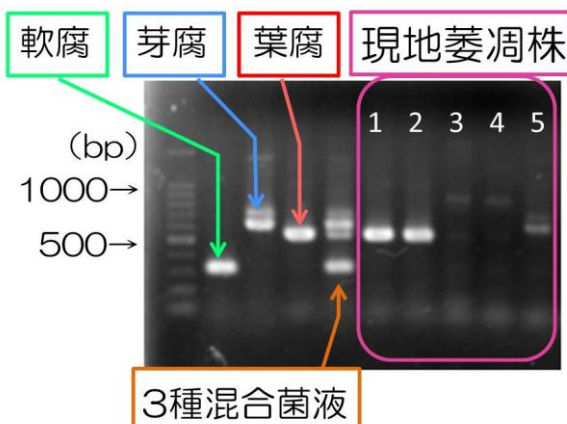
浸漬時間 (分)	濃度 (%)			
	0	10	20	30
0	×	-	-	-
10	×	×	△	○
30	×	△	△	○
60	×	△	△	○

* 菌の検出結果

○: 20%未満、△: 20~80%、×: 80%以上

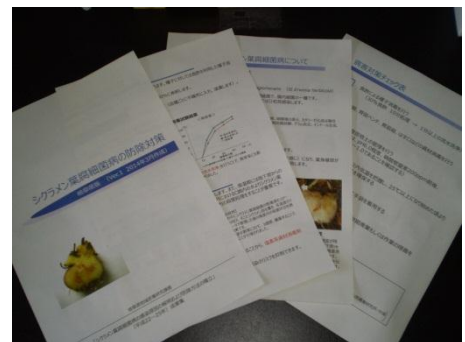


肥培管理とストレス処理が発病に与える影響



3種細菌に対する遺伝子検出技術

現地萎凋株のうち、1,2は葉腐、3,4は萎凋病、5は芽腐



作製した防除対策マニュアル

(研究成果)

- ・ 30%に希釈した市販の穀物酢に10分種子を漬け、その後1分以上の流水洗浄をすることで発芽率にも影響を与えず、シクラメン葉腐細菌に対する種子消毒ができます。
- ・ 肥料の過不足や管理中のストレスによっても発病が助長されるため、適切な肥培管理に努める必要があります。
- ・ シクラメンに感染する3種細菌病を迅速に判別する遺伝子診断技術を開発しました。本遺伝子診断を行うことで、感染株の廃棄など、速やかな対応が可能になります。
- ・ シクラメン葉腐細菌病に対する総合的な防除マニュアルを作成しました。